

# 第1回米沢市環境審議会 会議録

## 1 日時

令和2年6月9日（火） 午後2時30分～午後4時

## 2 場所

米沢市役所 701 会議室

## 3 出席者（敬称略）

### （1）出席した委員

南後 淳、白壁 洋子、柴田 正孝、近野 敏子、澤田 美恵子、尾形 一子  
深瀬 順子、鈴木 雄一、塩越 憲夫、山口 正廣、本間 精  
滝澤 誠（書面参加）

### （2）欠席した委員

無し

### （3）事務局員

森谷幸彦市民環境部長、石黒龍実環境生活課長、佐藤博人課長補佐、  
松浦雄幸環境主査、齋藤弘明主事

## 4 会議の概要

### （1）委嘱状交付式

会議に先立ち、市長より委員に委嘱状が交付され、挨拶がなされた。

### （2）開会・事務局紹介

### （3）審議会会長、副会長の選出

環境審議会条例第4条に基づき会長と副会長が選出された。

### （4）協議事項

#### ①米沢市環境審議会の公開・非公開について

- ・会議については公開とする。
- ・議事録については委員又は会長として明記し、要点記録とする。
- ・委員の個人情報については、国の機関、地方公共団体、関係団体、市民及び報道機関より、情報提供依頼があった場合、名簿に掲載してある範囲に限って提供する。  
名簿に掲載していない情報は、必ず委員本人に確認して、了承のあった情報のみ提供する。

## ②第3期米沢市環境基本計画見直しについて

始めに、事務局から資料1、2、3、6についての説明があり、その後各委員から発言がなされた。

### 委員

米沢南工業団地内にある木質バイオマス発電所は、2018年1月に開業し、発電出力6250kwの木質燃料専焼バイオマス発電所で、一般家庭の消費電力に換算すると、13,000世帯分の電気を24時間、年間を通して送電し続けています。

資料2 1ページ 木質バイオマス利活用の推進①、①-1の具体的状況について、成果として「～発電事業を展開している」と「～稼働を開始した」と記載されていますが、既に、実績として2年5か月が経過しているので、CO<sub>2</sub>の削減量や、市内の山林から搬出された木材の数量の開示も協力ができます。

資料2 1ページ 地球温暖化対策の推進の具体的状況について、木質バイオマス発電所の稼働によりCO<sub>2</sub>削減量は、成果としてカウントしてよいのではないかと考えます。

資料2 8ページ 森林資源の利用についての数値目標について、地元産材を利用した公共施設数が掲げられていますが、低質材の新しい利用法としての木質バイオマス燃料搬出量も成果として記載してはいかがでしょうか。

資料2 14ページ 環境教育の推進⑧について、環境基本計画の推進には、子どもや若い人たちへの教育が、何よりも重要だと考えます。山林と搬出の仕事から製材などのマテリアル利用と木質バイオマス発電の流れをもっと見学する機会を増やしてもよいのではないかと提案します。他県でも同様の取り組みをしていますが、子どものお母さんなど木質バイオマス発電を知らない方々が非常に多く、近くにこんな施設があったのかと感心して帰られます。子どもにとっては、教室で教えられるより、はるかに記憶に残るし、関心の度合いが変わります。

### 委員

米沢市は自然がすごくあって、他に負けずと劣らず、自然豊かな所だと常々思っています。なので、ぜひその自然を活かしていろいろなことができればいいと思っています。会議の資料を見ると、色々取り組まれているということはわかりましたが、市民からすれば、まだまだ分かっていないところがあって、他の委員の意見では、親子で発電施設の見学をしているということなので、米沢市でも工夫していいのかなと思います。木々は米沢市もものすごくあると思いますが、少し統一感を感じないところがあるのでその辺を、皆さんにお聞きしたいと思っています。

### 委員

委員として参加していますが、とても難しい多くの資料のため、次回からの審議になると思います。資料3の7ページ、食品ロスの削減の推進に関する法律について、令和元年5月に法律が公布されたということですが、その内容について深く知りたい。今、説明は可能でしょうか。

## 会長

事務局いかがですか。今、説明可能でしょうか。

## 事務局

詳しい条文資料を次回準備します。

## 委員

食品ロスの削減について、3010運動について最近知りましたが、これは衛生組合で力を入れており、年に一回、チラシなどでお知らせをしているようですが、少しインパクトが弱く、なかなか市民に浸透していないような気がします。これもまた次回質問したいと思います。

## 委員

私の所属する団体でもSDGsやエネルギーに関して、興味を持ち、話をしてはいますが、実際問題、化石燃料を使わないでエネルギーの使用をどうするかを考えてみると、主婦の感覚で設備を整えて行うことをシミュレーションしてみましたが、金額的には、現状のままとなっていました。発電で今は化石燃料が使われているので、できれば置賜自給圏構想の中で、他地域に頼ることなく自分たちで発電して、太陽光発電やバイオマス発電を自分たちで使うことができるという、夢のようなプラチナ構想があると聞いていたので、それはすごくいいことだと思っています。ただ、今の段階では東北電力から私たちも電気を受けており、3.11の震災時、米沢は電気が通っていませんでした。でも、もし電気が通らなくなった場合、やはり、近辺で発電、充電ができることはすごいことだと思います。飯舘電力を見学したときは、電気自動車があれば、それで充電でき、少しの間使えることを聞いたので、電気自動車を一家に一台持てるようになれば、これが米沢を救うエネルギーになると思います。私たちはそんなことで、食の安全、なるべくごみが出ないような食生活を目指しています。一つ提案ですが、いつも気になっていたことがあり、環境の面で、吾妻山や松川河川沿いはすごく環境がいいと思いますが、河川の中の雑木がすごく嫌だと思っています。それを倒すなどして、地域ぐるみで燃料として使われればいいと思っています。

## 会長

コージェネは山大で実験していたことがあり、実用化できればいいと思います。川の雑木が昨年の浸水被害の一因になったという指摘もあります。このことについても議論を重ねていければいいと思います。

## 委員

私は、小中学校の環境教育のお手伝いをさせていただいており、環境に関しては40年以上、企業のマネジメントシステムの審査等をやってきて、少年少女向けの講演に縁はありませんでした。企業は企業として、独自のやり方で10年前からの教育資料、教育の基本的な考え方の資料を作り教育を実施していますが、一般の企業と少年少女は全く違う切

り口が必要で、少年少女向けの環境教育は難しいですが、小中学校向けに講演している環境教育を洗練させていきたいと思っています。そして社会人とこれから社会に出ていく子どもたちに一貫した教育が必要であり、微力ながら環境教育の活動をさせていただきたい。市役所の行政では環境マネジメントシステムが必要ですから、企業の経験を活かしていただければと思います。また、森林の必要性を子どもたちに教えていきたい。自分は行政と林野庁など、いろいろなものつながりの中で、森林の復活がいかに大切かということも少しでもお手伝いできればと思っています。

## 会長

子ども向けの環境啓発活動は米沢商工会議所女性会でもやっています。次回以降、その話もいただければと思います。

## 委員

私の所属する団体では、いろいろな観察会や森の活動をやっており、仕事でも緑環境税を使った活動のお手伝いをしながら森の大切さを伝えています。

環境基本計画に関して、全体を見て自然環境の部分が弱いところがあるのではないかと思います。次回からその辺を議論させてもらいたいと考えています。

生き物、植物、動物のベースが自然環境、森林であり、そこをちゃんと捉えていながら、自然環境の上で私たち人間が暮らしていかないといけないと思っています。環境というと、ごみとか、地球温暖化防止が言われますが、そこに自然環境がどうかという部分が弱いと感じています。

進捗状況、資料2で×のところ、目標に届かないというもので、今後データで詳しく出てくるとは思いますが、どんなところでカバーできるかが大事です。そうしないと計画が無駄になってしまいます。また、3ページで×二つ目、学校にエアコンを入れており、熱中症対策でとても大切ですが、そのことで電気代が増えてしまったので×と評価されています。その辺のカバーをどうするかも大切だと思います。

市立病院の建設について、市のホームページを見て、木材をもっと多く使ってもいいのではないかと考えています。公共建設物には木材を使いましょうという条例があると思います。

質問ですが7ページで下から3番目で里山保全、民有林の補助5.15haとあるが、どのようなことなのかわからないので、次回でいいので教えていただきたい。

米沢の自然を考えたときに、吾妻山も大事ですが、私たちが住んでいる近くの斜平山などの里山、それから河川の植生、生き物もきちんと調査していかないと、自然がどのようなになっているのかわからないということがあります。

河川の雑木をきれいにするのは、景観の面からも賛成ですが、羽黒川あたりでは柳の仲間絶滅危惧種のものがあるので、それらは切られてしまわないように、きちんとよく見てから支障木を片付けるようにしないと、ただきれいにするということでは自然環境は良くなりません。自然環境に力を入れていくことが必要です。

## 会長

巨木が虫に倒されている現場を見たことがあるため、病虫害防除が大事であると考えています。自然環境への言及が少ないため、森林環境の保全という言葉だけで片付けずに具体的な対策を盛り込んでいくことも今回の方向かと思っています。

## 委員

私たちの業界では、温室効果ガスの削減の取り組みをしており、家庭のこれからの方向はネット・ゼロ・エネルギーであると考えています。皆様もご存知かもしれないが、特に太陽光で発電して蓄電する、自給自足という考えをメーカーは研究し推進しています。この会議室の照明は蛍光灯ですが、今新設される場合はほとんどが LED 照明です。蛍光灯は、二酸化炭素を多く出し省エネではないためメーカーは製造しておらず、販売しているのは在庫だけです。白熱灯も製造を止め、メーカーは温室効果ガスを多く出すものは極力製造を止めています。我々業界では、IH クッキングヒーター、フルタイムエアコンを普及させようとしています。

## 委員

皆さんは環境に対してバックグラウンドをお持ちですが、私は機械を専門にしており、ここに推薦された経緯を推察すると、自動車業会に所属していて、放置自動車発生時に相談されることを市から委託されており、参加させていただくことになったと思います。私には専門知識、経験を期待されてると思いますが、私からは一市民としての感想になるかと思っています。資料を見ると、国連サミットや COP の話がでてきて、国際社会からどう話が進んでいくのだろうと心配しましたが、各委員の米沢地域に根差したお話を聞くことができ、少し安心しました。私が学生であった時代から30年が経っていますが、米沢の環境は他と比べても素晴らしいと思っています。委員の方々、森林、木あるいは河川に関して話を聞きましたが、その辺も幅広くできればと思います。川の話で思いましたが、水不足は今年どうなるのでしょうか。今年は雪が少なく良かったが、その反動はきっと夏の水不足に繋がり、去年小学校でプールが中止となり、そういう事が米沢地域で影響が出始めている中で、単なるトップダウンではなく地域から問題提起して解決していくこと、固有の雪、水などバランスよく米沢の特徴を活かした取り組みができればいいと思います。

## 委員

私たちは、小さなことからコツコツと活動している団体です。例えば、廃油を利用して石鹼を作る。また、優良企業を視察して、資源回収の大事さなどを勉強しています。寒河江市にはエフピコというプラスチックを回収して再生するという工場があり、スーパーの入口などで回収したプラスチックトレイを、しっかりリサイクルしています。そういう勉強をすることは大事だと思っています。今年の7月からは、コンビニでもレジ袋が有料になり、大きなスーパーマーケットでも6月から有料化になっています。私たちはリサイクル運動もやっており、古くなった傘を解体してバッグを作るような活動をしながら、環境問題も勉強しています。

## 委員

前回、地球温暖化対策実行計画の区域施策編策定時でも委員であり、感じたことは温暖化といわれてもなかなかピンと来ず、計画ができて、市民が読んで、理解して実行していこう、こうすればもっといい社会になると思えるような計画を作る必要があります。難しい言葉でいろいろ書いても役に立たず、環境問題全般に関わることだと思いますので、少しでもわかりやすい丁寧な言葉で、小さい子どもから高齢者までわかるような計画を作って、全体がすぐ変わるわけではないと思いますが、コロナ禍で、子ども達もオンラインを活用しているところがあると思うので、そのメリットを生かすことができればいいと考えています。私の経歴は公務員として、クリーンセンターで10年間、下水道の浄水処理センターで11年間、上水道で5年間働き、長く水行政に関わっており、米沢は山形県の母なる川である最上川の源流であります。米沢から汚い水を出してしまうと山形県の母なる川が汚れてしまいよくないと考えたため、環境カウンセラーの資格を取り、環境団体に活動をしています。活動はこういったところですが、その仲間と協力しながら意見を申し上げたいと考えています。

## 会長

去年の渇水と雪の関係をどのように考えますか。

## 委員

米沢市は最上川の最上流部にあるので、降った雨がすぐ流れてしまいます。綱木川ダムができたので若干水道行政は良くなってはいますが、できるまでは大変で、いろいろところで地下水を利用するために井戸を掘って渇水時期に備えていました。雪が少ないと米沢はすぐに渇水になるので、心して使っていく必要があります。板谷など、簡易水道があるが、水量が少なくなると水質が悪くなるので、水を大事に使っていただきたいと思います。

## 委員

私は、元教員で社会科を担当し、当然環境問題などが授業で出てきました。資料3の最初に書いてあった、2030のアジェンダ、持続可能な開発目標も授業で教えており、懐かしく思いました。現職のころ、アジェンダとはどういう意味か辞書で調べてみたところ、政策の課題でありました。政策上でこういう方向に進めていくという課題だということで、それでアジェンダやサステイナブルもそうですが、英語が出てくるので辞書が必要でした。資料1、資料2、資料3を読んだところ範囲が広くて色々なことをやっているのだなと思って、審議会で私も環境問題への理解を深めたいと思っています。

## 会長

委員の皆さんから意見を貰い、それぞれに関心がある部分があることが分かりました。時間は限られていますが、審議会の中で理解を深めていき、市民に分かりやすい良い計画を作りたいと思います。ほかに何か質問はありますか。

## 委員

3010運動推進のお知らせは、衛生連合会の会合の度に行っています。一般の市民に対して広報はもちろんですが、どのように周知すればよいのでしょうか。

## 委員

私の所属する会の懇親会では、男性がいるテーブルでは、お酒を飲む人が多いため、食べ残しが多いという意見が出ています。どこの会場でも3010運動をPRしておらず、家だけではなく、外食で対策をしないとフードロスはなくならないと考えます。

## 会長

米沢市では地酒で乾杯条例のおかげで、ビールでの乾杯はなくなっています。たとえば条例化するなど、実践できる具体的な仕掛けを各団体に働きかける必要があります。

## 委員

ナラ枯れ、マツ枯れに加えて、ニホンジカの被害について、山形県での被害は少ないが、西日本では被害が出てきて大変なことになっています。本編22ページに載っていませんが、向こう5年間のことを考えるべきです。山形、置賜地域はクマ剥ぎの被害が大きい。クマ剥ぎとは、クマが植林している杉の木の皮を剥いでしまうことで、森林被害となっています。

## 会長

ニホンジカによる被害とはどのようなものですか。

## 委員

山や里の、木の芽や草を食べてしまい、地面が土一色になってしまい、土砂崩れが起きやすくなることがあります。

## 委員

モーゼスレイク通りの近くで、清掃奉仕をしたときに、3か所で犬のフンを発見して、がっかりしたことがありました。看板を設置するなど対策はとれないでしょうか。

## 会長

観光地である松が岬公園周辺のフン害は深刻でしたが、清掃活動を継続してきて、ここ10年間、フン害は減ってきたので、逆行する振る舞いがあります。話は尽きないが、このあたりで本日の審議は終了とします。

## (5) その他

事務局から次回審議会の日程について連絡があった。

## (6) 閉会